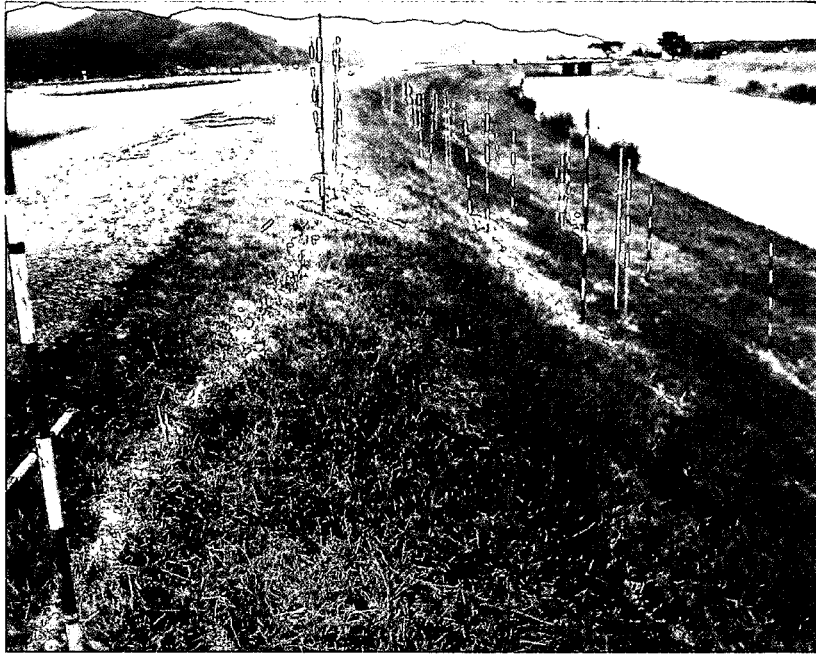
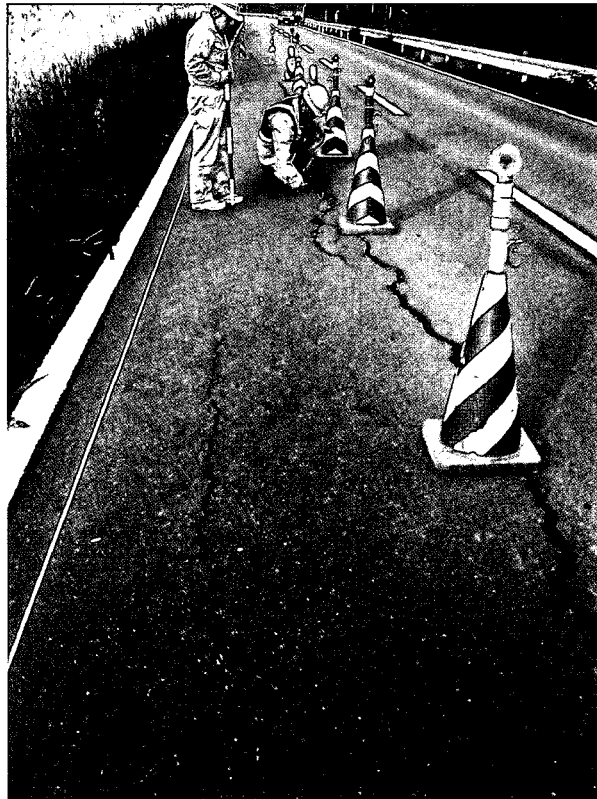


## 河川施設の被災状況

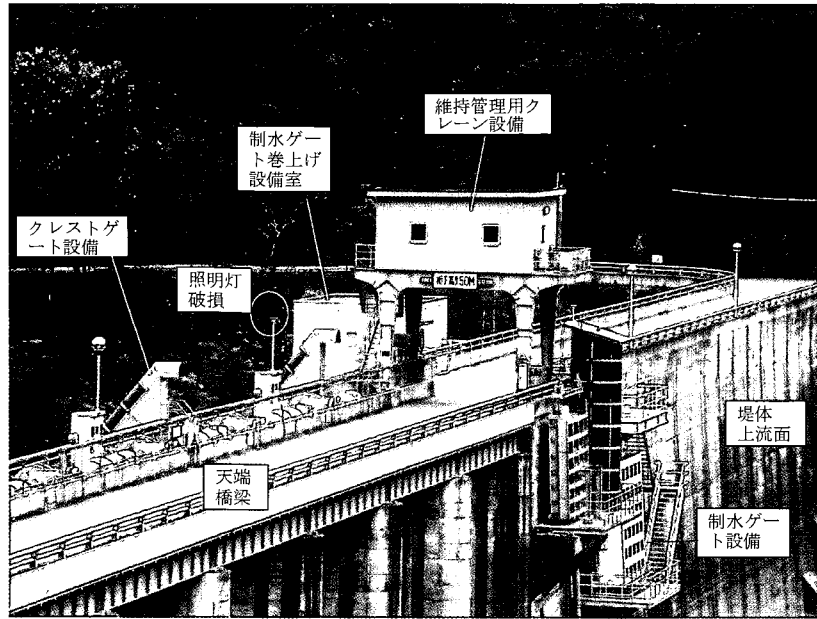


写真G 5.1 北上川釜谷地区堤防（1.3km 付近）の被災状況  
白線は、地震により発生したクラックに石灰を注入したもの。  
（撮影：北上川下流河川事務所）



写真G 5.2 北上川七尾（11.5km 付近）の被災状況  
堤防天端に縦断クラックが発生した。  
（撮影：北上川下流河川事務所）

## ダムの被災状況

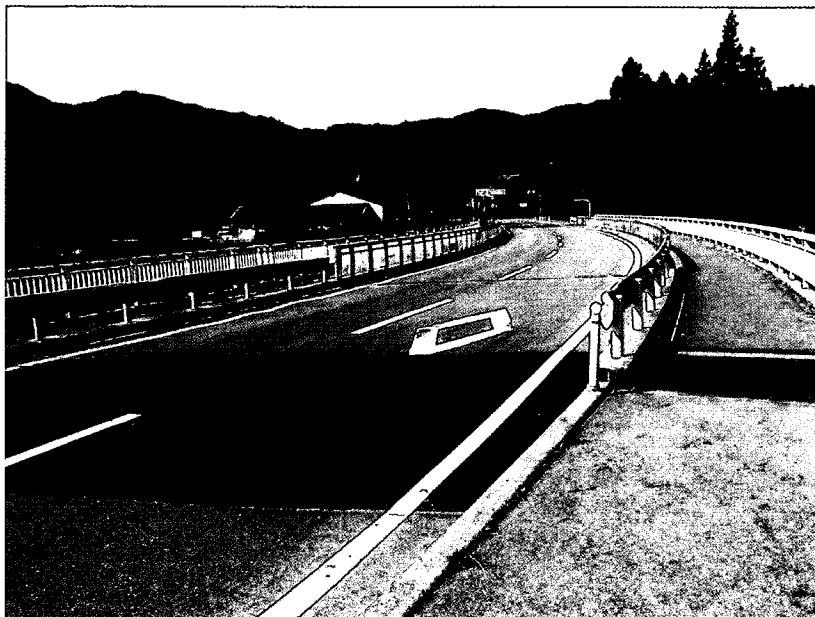


写真G 6.1 東北地方整備局 田瀬ダムの天端状況  
天端にて最大 1024gal もの大きな加速度が計測されたが、  
照明灯数基の頂部ガラスが破損した以外の変状は生じなかった

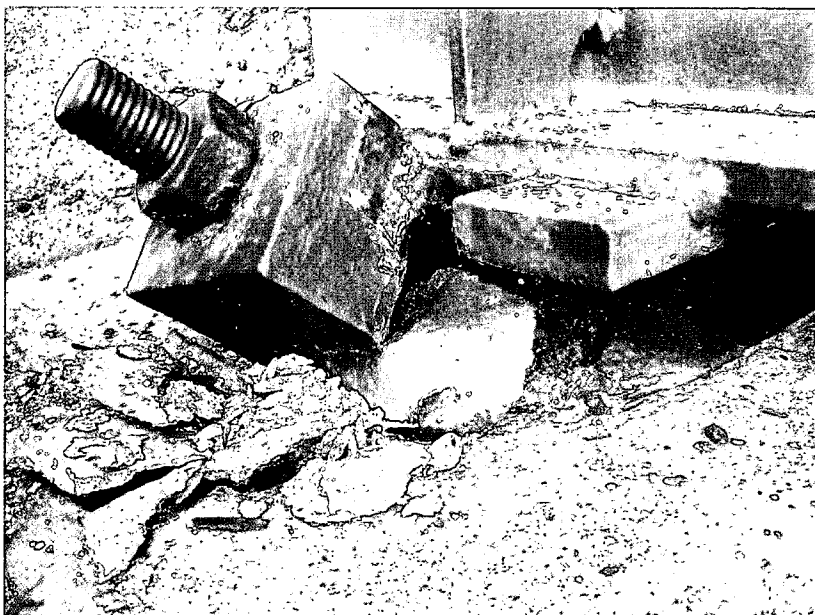


写真G 6.2 岩手県 日向ダムの高欄部継目の開き状況  
天端にて最大 1,111gal の加速度が観測されたが、堤体本体の変状はなかった

## 道路橋の被災状況



写真G 7.1 国道45号白木沢橋(岩手県大船渡市三陸町吉浜地内)  
橋台取付け盛土の沈下、アスファルト盛付けによる補修



写真G 7.2 村道船渡線船渡橋(岩手県宮守村上鱒沢)  
線支承のアンカーボルトの橋軸直角方向への変形状況

## 斜面の被災状況



**写真G 8.1** 急傾斜地崩壊危険箇所における斜面のり肩のき裂の発生  
(宮城県牡鹿町前浜地区)  
のり肩部から約1 m程度の位置に長さ30 m程度の連続的なき裂が確認された。き裂の開口幅は1 cm から3 cm 程度であった。



**写真G 8.2** 地すべりによる移動土塊の堆積状況 (宮城県築館町館下地区)  
水田 (勾配 $1^{\circ}$  以下) に厚さ約0.7 m、勾配約 $2^{\circ}$  で最大幅約55 m、長さ約65 mの範囲に薄く広がって堆積していた。



**写真G 8.3** 落石が生じた道路斜面の状況

(岩手県住田町世田米子飼沢地区 国道397号)

高さ約18m、幅約23.5mのモルタル吹付斜面の頂部がくさび状に崩壊した、はく離（浮石）型の落石である。崩壊は高さ約5m×幅約10m程度で、崩壊量約80m<sup>3</sup>であると推定。

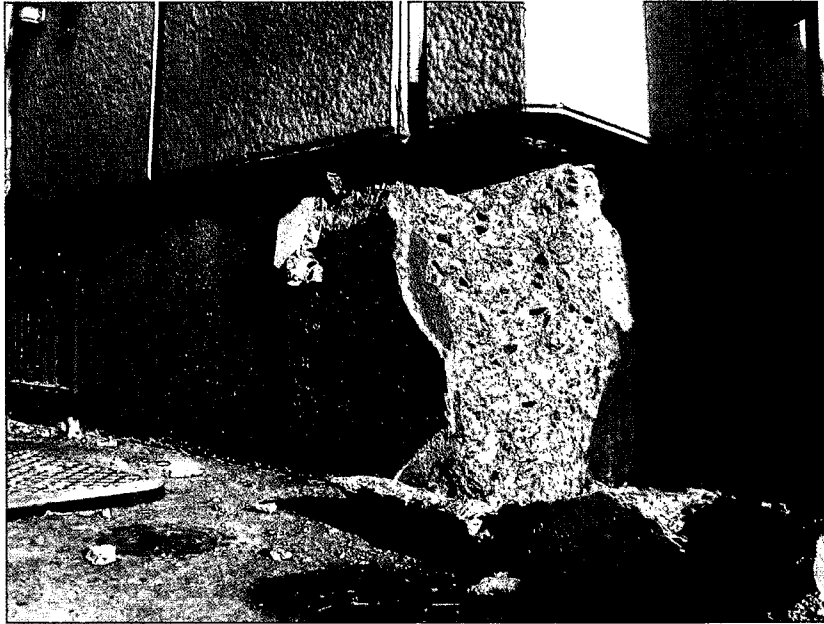


**写真G 8.4** 落石が生じた道路斜面の状況

(岩手県釜石市甲子町地区 県道167号釜石住田線)

モルタル吹きつけ斜面のオーバーハング部分が高さ3.9mの位置からはく離した、はく離（浮石）型の落石である。はく落は幅約7.5m×高さ約8mで、岩塊の体積は約25 m<sup>3</sup>である。

## 建築物の被災状況



写真G 9.1 軽量鉄骨プレハブ住宅の被害

上部構造の軽量鉄骨を基礎梁に接合している定着アンカーまわりのコンクリートが割れ、軽量鉄骨が移動している。また外装材にずれが生じている。  
大船渡市



写真G 9.2 気仙沼市立階上（はしがみ）小学校校門の被害

小学校校門の石造の門柱が地震によりずれている。  
気仙沼市階上小学校